

2017年 プログラム近況報告

ケニア イララマタク地域開発プログラム

ご支援によりイララマタク地域の子どもたちの
生活が改善しています



イララマタク地域開発プログラム マネージャー
シニーナ・シャニ

イララマタク地域の子どもたちへのご支援を通して、子どもたちとその家族の人生に変化をもたらしてくださっている皆さまに心から感謝申し上げます。今年の最も大きな成果は、子どもたちへの教育支援を強化できたことです。この結果、小学校に入学し、継続的に教育を受け、小学校卒業後に高校*に進学する子どもたちが増えています。

一方、引き続き大きな課題となっているのは、子どもたちが教育を受け健やかに暮らすことを妨げている伝統的な慣習を根絶することです。ご支援によって、これからも地域の人々、特に子どもたちに、豊かな人生をもたらすための活動を続けてまいります。

*ケニアでは8年間の小学校の後は4年間の高校が続きます。

イララマタク地域での主な成果



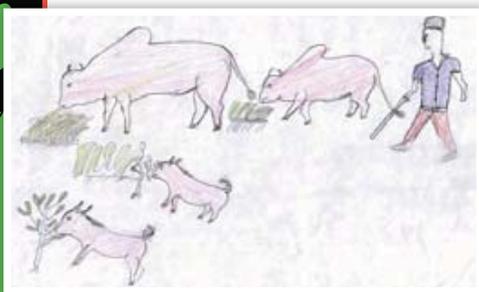
チャイルドの絵「料理しているところ」
(ジェレマイア、14歳)

健康状態が改善しました

より多くの子どもたちが健康的な暮らしをしています。巡回診療のスタッフが地域を訪れ、健康管理についての啓発活動を行った結果、約120人の母親が4回の産前健診を受け、3,992人の子どもたちが予防接種を受けました。

教育を受けました

生徒たちはより快適な環境で勉強しています。子どもたちの早婚を減らし、継続的に学校に通えるように支援するため、80人収容の女子生徒用の寄宿舎を建設しました。また、6つの学校運営委員会が地域住民に対する啓発活動を行い、学校の財務管理、子どもの権利の保護、学校運営のための資金調達、学校の改善計画についての住民の理解が深まりました。



チャイルドの絵「農作業」
(カシム、12歳)

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

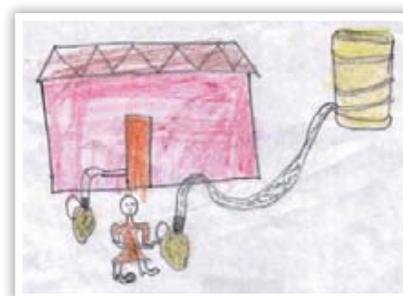
地域の中で多くの子どもたちの権利が守られるようになってきています。

子どもの権利についてのキャンペーンに688人の保護者が参加し、学校やほかの関係者との協力関係を強めました。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

より多くの子どもたちが思いやりのある地域社会で暮らしています。

子どもの権利を守るために地域内で連携する体制ができ、調査した144人の子どもうち約87%が、身体的・性的虐待を受けたとき誰に報告したら良いかを知っている、と回答しました。



チャイルドの絵「水汲み」
(カメネ、14歳)



チャイルドの絵「ゾウ」
(ダイアナ、13歳)



「村に巡回診療のチームが来てくれたおかげで、健康を取り戻すことができました。今は元気に学校に通っています。」

ンコイティコ君（9歳）



「夫を亡くした後、私には子どもたちを養うすべがありませんでした。でもワールド・ビジョンの研修と支援を受け、養蜂プロジェクトに参加してから、得た収入で子どもたちに必要なものを買えるようになりました。」

ナラングさん
（地域の母親、写真左）



「以前は動物の世話をしていたのですが、子どもは学校に行った方が良く両親が知り、ぼくを学校に入れました。今は自分で読み書きができるので嬉しいです。」

ティンギシャ君（9歳、前列中央）



「前は学校の近くには水場がありましたが、そこまで歩くのは遠くて危険でした。今は自分たちの村の中の、家のすぐ近くできれいな水を汲めます。」

セリナちゃん（12歳、中央で水を飲んでいる女の子）





チャイルドの絵「ロバ」
(イライジャ、13歳)

教育の重要性を 理解する

「修了試験の日が待ち遠しいです。母親になった後も学生を続けるのは簡単なことではありませんが、ワールド・ビジョンのスタッフが学校に戻るよう励ましてくれました。私の母が子どもの世話を引き受けてくれたおかげで、学校に戻り、さらなる学びを続けることができました」と16歳のスーザンちゃんは話します。

「大学への入学資格を得るための高校修了試験に合格できるよう、準備をしています。大学を卒業したら看護師になりたいです。この地域では、以前は親たちが教育を重要視していませんでした。でも研修を受けて、少しずつ意識が変わってきています。今は多くの人々が教育の重要性を理解しています。

学校を卒業したら、教育の重要性について、また人々、特に女の子に意欲を与えてくれたワールド・ビジョンの支援について、女の子たちに話をしたいと思います。私が看護師になりたいと思ったのは、地域のお母さんたちが知識不足や周囲からの適切なアドバイスを受けられないために苦しむ姿を見てきたからです。将来は地域の人々に、自分が受けた良いものをお返ししていきたいと思っています。」



女の子が将来職業に就くために教育を受けることの重要性について話すスーザンちゃん（写真右）

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351（平日9:30~17:00）
e-mail：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号
KEN-182381

ケニア イラマタク地域開発プログラム (KEN-182381)
2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	41,914,198
前期からの繰越額	910,184
プログラム支援額合計	42,824,382
プログラム支出額	
教育プロジェクト	21,204,024
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	21,173,689
プログラム支出額合計	42,377,713
次期繰越額	446,669

活動内容



教育プロジェクト

- ・学習環境の整備 (学生寮の建設および備品供与、貯水タンク設置等)
- ・教育の重要性や子どもの権利に関する地域住民への啓発活動
- ・就学前教育の教員の能力強化
- ・夫を亡くした女性グループの養蜂活動支援による母子家庭の生計向上

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・学校運営委員会の能力強化 (資金管理・配分、子どもの権利と保護、学校改善計画の策定方法等)
- ・子どもたちへのライフ・スキル*研修

*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術